

事業の概要

背景

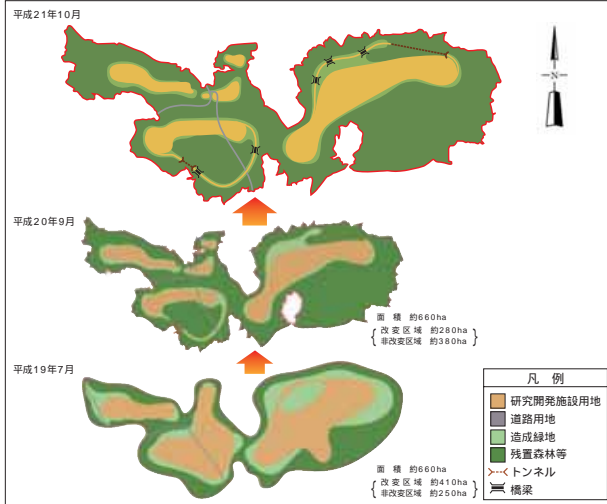
産業経済活動のグローバル化が進展する中、愛知県の産業はモノづくり技術の高度で幅広い産業集積を生かして、技術力や付加価値を生み出す先端産業分野での優位性を高めていくことが求められています。
本県が引き続き、世界における産業の中核的な役割を担う地域として発展していくためには、モノづくりの発展を支える基盤技術など高度な研究開発を推進していくための拠点づくりが重要となっています。

事業の目的

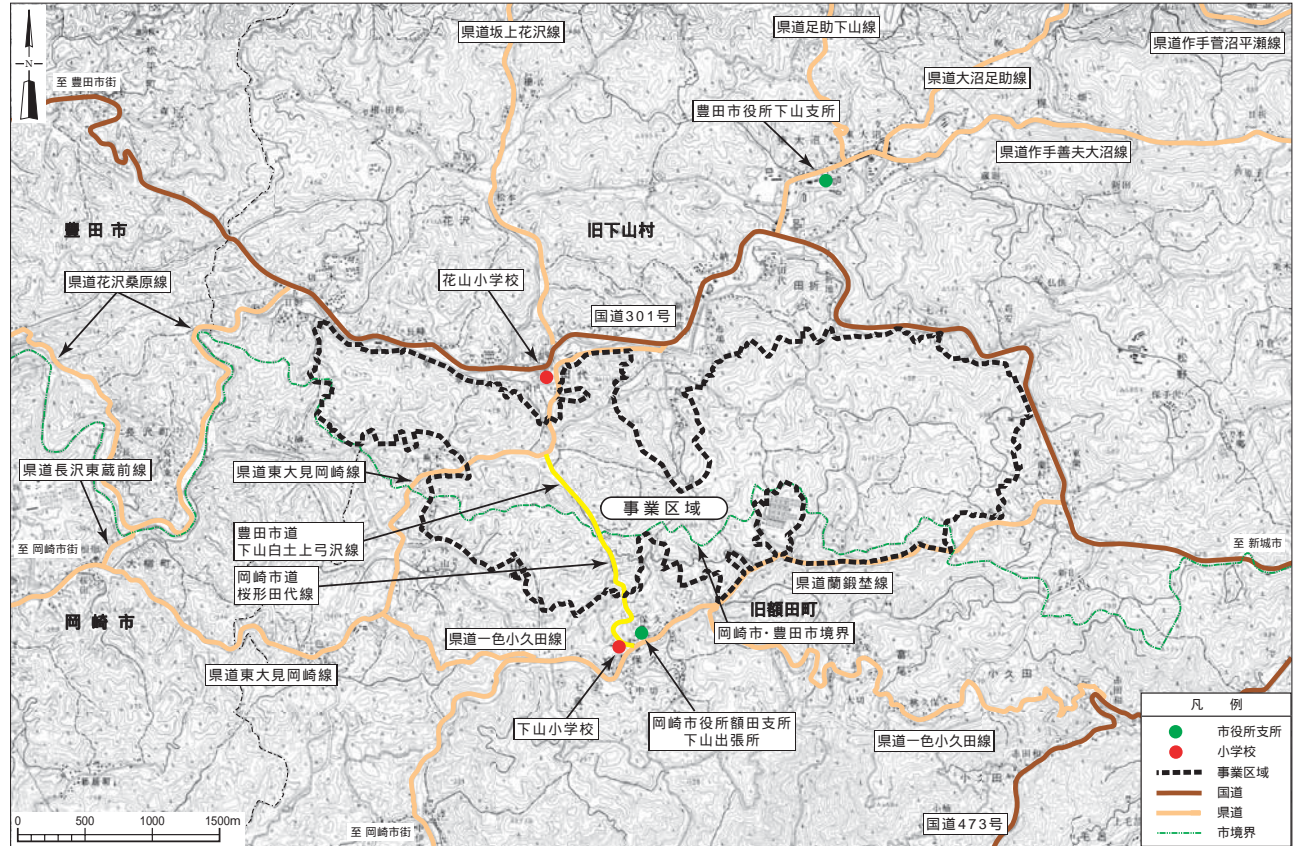
本事業は、本県の基幹産業として極めて重要な役割を担う自動車産業の研究開発施設用地を造成することにより、モノづくりの技術革新を支える研究開発機能の集積を促進し、本県の産業振興と地域の活性化につなげようとするものです。

- 1 位置・面積** 豊田市蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町（旧下山村）
岡崎市富尾町、保久町、外山町（旧額田町）
約660ha { 変更区域 約270ha } 平成21年10月
 { 非変更区域 約390ha }

2 土地利用構想図



13 事業区域図



3 主な研究開発施設等の概要

内容	
東側	・テストコース及びその付帯設備
西側	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発棟 ・実験棟 ・オフィス ・テストコース及びその付帯設備 ・駐車場 ・厚生施設 ・自家発電設備 ・汚水処理施設

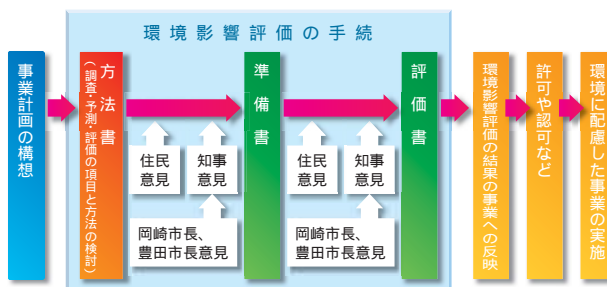
- 4 事業主体** 愛知県企業庁
- 5 立地企業** トヨタ自動車株式会社
- 6 人員計画** 将来的に約4,000人
- 7 給水計画** 豊田市営水道から給水を受けます。
- 8 排水計画** 雨水は、調整池を経て郡界川、蕪木川、保久川へ放流します。汚水は、事業区域内に汚水処理施設を設置し、郡界川又は蕪木川へ放流します。
- 9 防災計画** 工事中及び造成後は、各種開発許可制度の安全基準による沈砂池及び調整池を設けます。
- 10 道路計画** 事業区域の北西部付近で国道301号へ接続します。事業区域内を県道東大見岡崎線及び岡崎市道桜形田代線・豊田市道下山白土上弓沢線が通過します。
- 11 環境保全対策** 専門家の意見を踏まえながら、希少動植物の保全対策や残置森林・谷津田(里山)の維持管理手法の検討など、必要な環境保全対策を講じていきます。

12 事業スケジュール(予定)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
愛知県企業庁	環境影響評価手続								
トヨタ自動車									
	開発手続								
	造成工事								
	施設建設工事								
	施設供用								

これまでの経緯			
平成18年3月	地元検討委員会の発足	平成19年7月	環境影響評価方法書の公表・策定
9月	地元代表がトヨタ自動車へ立地の検討を要請するとともに、豊田市・岡崎市へ協力を要請	9月	現地調査に着手
12月	トヨタ自動車による土地利用構想の検討	平成20年8月	用地交渉の開始
平成19年2月	トヨタ自動車・豊田市・岡崎市から、愛知県へ開発要請	9月	土地利用構想の発表
平成19年度愛知県予算の発表(開発実施の公表)		平成21年4月	自然環境保全技術検討会の設置
		10月	トヨタ自動車が「新研究開発施設のあらし」を公表

環境影響評価の流れ



現地までの交通アクセス



問い合わせ先

愛知県企業庁企業立地部 研究施設用地開発課
 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 電話 052-954-6702 (ダイヤルイン)
 愛知県豊田工事事務所
 〒471-0863 豊田市瑞穂町二丁目5番1号 電話 0565-35-7051

地域のさらなる発展をめざして

豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業

